

鵜沼小学校保護者及び近隣町内会の皆様へ

秋の楽しい運動会、遠足も無事終わり、子供たちも落ち着いた日常が戻ってきました。しかし、市内の高倉中学校での事件や、近隣でも不審者の出没が報告されています。そこで、今回の KFP 通信は声かけ防犯、防犯ブザー、について書いてみました。

声かけ防犯 (あいさつが犯罪減らす!!)

空き巣、自動車(自転車)窃盗、チカンなど町の中で発生する犯罪の多くは「機会犯罪」と呼ばれています。つまり、機会をねらって犯行に及ぶケースが多いのです。ということは犯罪のできる機会を与えなければ、犯罪は未然に防げます。

事実、逮捕された空き巣犯などのアンケート調査のデータによると犯行をあきらめる理由の第一位は

近所の人による声かけであったということです。

「おはようございます」「お帰りなさい」「こんにちは」「どちらにお出かけですか」「何かご用ですか」等と

地域の人から声をかけられるのが、犯罪者にとっては一番いやなのです。地域の連帯が進めば、地域から犯罪を減らすことができますと思います。不審者にとっては地域の目が脅威であるとともに地域の人にとっては、声をかけられることによって、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。

「ここでの犯行は無理だ」と思わせる地域の結束力があれば犯罪は自然と減少してくるでしょう。住民同士が声を掛け合う町にして機会犯罪を減らしましょう。

防犯ブザー (忘れず付けて、音も確認!!)

小さな子供を狙った犯罪が急増しています。通学路の子供の安全を確保するために藤沢市から児童に防犯ブザーが配られています。みなさん防犯ブザーをご存知でしょうか、ほとんどの方は防犯ブザーの存在を知っていると思います、それでは、防犯ブザーの音を試しに聞いたことがありますか？実際の音を聞いたことがありますか？実際に子供が被害にあって、ブザーを鳴らしたけれども、周りの人が気付いてくれなければ、防犯ブザーの役目になりません、機会があれば、ブザーの音を確認しておくことも必要でしょう。

それから、防犯ブザーを有効に使うために、どこに付けておくかも大事ですねランドセルの奥にしまっておいたら、取り出すのに時間がかかります、何かあったときに、すぐに手の届く位置、低学年、高学年によって手の届く位置が違うと思います家族で検討してみてください。せっかく配布された防犯ブザーです、有効に使いましょう。

KFP のパトロールについて

防犯パトロールというのは通常は複数人でパトロールをします。しかし KFP のパトロールは、合同パトロールの他に個人、個人でもパトロールをしています。

隊員のほとんどが、自分の空いている時間帯にもパトロールをするからです。曜日も、時間帯も、人数もそのときによって、違ってきます。それは、少しでも子供たちを守るため、地域の防犯の役に立てばと思い自分たちの空き時間を使って、黄色いプレートを自転車に付けてパトロールをしています。ご協力お願い致します。

KFP (鵜沼おやじパトロール隊) では随時、隊員を募集しています。鵜沼小学校 PTA 会員で参加協力して頂ける方はご連絡ください。

隊長